



今治にハマった皆さんに、今治の魅力や活動についてインタビュー i'm into Imabari!



File:15



Person

今治タオル工業組合
理事長

正岡 裕志さん

2006年からブランディング・プロデューサーに佐藤可士和氏を迎え、再生プロジェクトをスタートした今治タオル。認知度・売上ともに回復し、今や国内外に広く知られるブランドに成長しました。現状に甘んじることなく新たな取り組みをおこない、ブランド力のさらなる向上を目指す、今治タオル工業組合の正岡裕志理事長にお話を伺いました。

ブランド力のさらなる向上を目指して

「地域ブランド調査2023 産品想起率(食品以外)」において、【今治タオル】として今治市が6年連続の1位を獲得したという嬉しいニュースが飛び込んできました。「今治といえば、今治タオル」のイメージがすっかり定着しているんですね。

「おかげ様で今治タオルは、安心・安全・高品質なジャパंकオリティの代表製品として広く認知されるようになりました。次の目標は、タオルメーカー各社がブランドになることです。」と語る正岡理事長。今治タオルは、今治タオル工業組合に加盟しているタオルメーカー79社(2024年2月現在)が作っていますが、「今治タオル=1社が作っている」と勘違いされることもあるのだとか。そこで、メーカーごとの特徴を知り、自分好みの一枚やお気に入りのメーカーを見つけてもらおうと、今治タオルを生産しているメーカー1社ずつにスポットを当てる「メーカーポップアップ」の開催を2023年から今治タオル 南青山店で始めました。これまでに8社が出展、認知度アップに貢献しています。



全国各地で講演をする機会も多いという正岡理事長ですが、講演では、79社あるタオルメーカーのことや、ブランド認定マーク(ロゴ)のタグには4桁の企業番号が付いており、その番号からタオルを作った会社を調べることができることなども説明しているそう。今治タオルの正しい知識を知ってもらおう地道な周知活動にも余念がありません。



今治タオルのキープロダクトである白いタオル。各社の織り方や素材で絶妙に風合いも異なる。

次世代につなぐ

近年注目を集めるサステナビリティ活動についてお聞きしました。「今治市を流れる蒼社川の水は、今治タオルづくりに欠かすことのできない存在です。その源である高縄山系の森を大切にしたいという思いから森林づくりの活動“今治タオルと水の森”を2019年より続けています。」(正岡理事長)この活動では、プロによる森林整備事業や、組合員とその家族によるボランティア活動、子どもたちを対象とする体験学習などをおこなっています。自然を生かしたユニークな企画は、回を重ねるにつれ工夫が凝らされ楽しさがアップ。こうした活動を通じて、環境保全と未来を担う子どもたちへの情操教育もおこなっています。

また、技能の継承も長年の課題でしたが、2022年に「今治タオルアカデミー」を開校、次世代の産地を支える技能者を育成し、地域全体の活性化を目指す取り組みを始めました。講師陣は、タオルマイスターや現役の工場長など、経験豊富なベテラン技能者たち。授業は少人数制で、技能レベルに合わせて初級から上級までの3つのコースが提供されています。特筆すべきは、企業間の垣根を越えて学び合い、各々が持っている知恵を出し惜しみすることなく教え合うことを重視している点です。各社から講師や受講者が集まり、交流し、刺激し合うことで、産地全体の活性化を目指しています。



企業間の垣根を越えて

市場環境が急速に変化する中で生き残るためには、「同業他社を“敵対するライバル”ではなく、“よりよい商品づくりのために協力する仲間”として捉える時代にきている。」と正岡理事長は言います。それぞれの強みを生かした今治タオルを開発・提供することで、産地全体の魅力を底上げすることが期待されています。各社の協力といえば、能登半島地震の被災地支援もそのひとつ。今

治タオル工業組合は、石川県輪島市に支援物資として1万枚のタオルを送りました。被災地の輪島市からの要請に対し、組合員各社に呼びかけたところ、2～3日の間に予定数を大きく上回る数のタオルが集まったそうです。すごい団結力ですね。これには正岡理事長も驚いたとのこと。「被災者の方には、吸水性に優れ、肌触りも良い今治タオルで疲れた心と体を少しでも癒やしていただけたらと思っています。」(正岡理事長)これからも引き続き被災地支援のための活動を継続していくそうです。

「今治市は商売のまち、タオル以外にも造船や食品など多種多様な産業が存在しています。これら異なる産業が協力し合い、お互いの強みを活かして地域全体を盛り上げていきたい。」と正岡理事長。産地が一体となり、皆の力を結集することで、「今治」というまちのブランド力がさらに向上していくのだとあらためて気づかされました。



今治タオル 本店

あなたの i'm into をおしえてください



創業大正10年、老舗のタオル会社「正岡タオル」の社長でもある正岡理事長は、会社のDNAともいえる「本物を作り続けること」に強いこだわりを持っています。最良の素材、水、織りの技術を揃え、伝統と革新のなかで磨かれた本物のタオルづくりを続けていく、これこそが今治タオルのものづくりの象徴なのかもしれません。タオルを作ることが面白くてたまらない！という正岡理事長。正岡理事長は、本物のタオルづくりに夢中です！

今治タオル工業組合の
ホームページはこちら→
<https://itia.or.jp/>

